

大蔵省／NGO 定期会合第一回議事録】

日時：97 年 4 月 24 日 午前 10:00～

NGO 参加者：稲垣（自治労）、井上、北沢（PARC）、今村、楠原（福岡 NGO フォーラム）、岩崎（2001）、浦本（M.W.）、斎藤友世、鈴木（JACSES）、高橋（JVC）、南里（JATAN）、水原（日消連）、諸（CHT）、斎藤あや（FoEJ）

大蔵・国際金融局開発機関課： 榊原（局長）、大村（課長）、上羅、石川、小林（課長補佐）

1）今後の会合の持ち方に関して

NGO：

これまで環境や人権を問題としてきたが、貿易／金融の自由化により問題が拡大しつつある。常時の情報交換が大切であり、互いの立場について話をするのが重要である。こうした会合は担当者が異動すると途切れることがよくあるが、継続性を持たせたい。

大蔵省：

局として取り組む体制を取っているので担当者が変わっても続けていくつもりでいる。こういった形で継続的にやり続けていきたい。また議題によっては IMF 担当の国際機構課担当者も呼ぶつもりでいる。

NGO：

議事録のコントロールはどうすればいいか？ NGO 側としても作らせていただきたい。

大蔵省：

“議事録”ではなく、合意した事項／確認事項を箇条書きにしたい。大蔵省側で概要を箇条書きにするので、NGO 側に確認して付け加えてもらう。

NGO：

世銀や ADB など多国間開発銀行における理事の投票行動を明らかにしてもらいたい。欧米では公表するのがあたりまえになっているが、日本の NGO は海外の NGO を通じてしか知ることが出来ない。

大蔵省：

出来る限りは対応したい。世銀が発表するリリースなどを元に、日本代表理事がどういう態度を取ったか説明したい。

★榊原：

可能だと思う。機関そのものの制限があれば別だが、欧米がやっているものについては、原則としてやれないわけではない。

NGO：

現在 NGO が注目している問題に IDA の第 12 次増資問題がある。そうした各 MDB の政策、増資問題、貧困問題などのアジェンダを、議題としてこちらで取りまとめたい。

大蔵省：

その時々で焦点を絞って会合を行ないたい。正確な情報をお伝えしたいと考えている。しかし開発機関課の人数も限られている。ご期待に 100% 沿うことは難しいかもしれないが、出来る限り前向きに行ないたい。

NGO：

外務省の場合には担当が拡散しており、一つの局と交渉しても他の局はまるで知らないことが多い。国金局内だけではなく、大蔵省の内部で十分回しておいてもらいたい。

会合の頻度を多くするより、十分時間をかけて充実した議論を持ちたい。2 ヶ月に一度の割合で、一回につき 3 時間ではどうか？

大蔵省：

最初は四半期に一度、1 時間半くらいにしたい。というのも、やって見ないとどれだけたいへんかわからない。中途半端よりもきちんとした議論をしたいので、調整しながらやりたい。

★榊原：

3 ヶ月に一度定期的な会合、さらに緊急の議題についてはそのつど調整するのでいいだろう。次回の会合で何を話すか事前に決めて、事前段階で情報をもらえればあらかじめチェックも出来る。人数が足りなくてとても全部はやりきれないのが現状だ。

NGO：

国会議員との関係についてはっきりさせておきたい。立会人／世話人として同席してもらうこともありうる。また実際の政策としての方向性が出てきたときには議員の力を借りる。

大蔵省：

超党派であれば問題ない。秋葉忠利議員にも『関心の深い議題の際にはご参加いただいて構わない』とお伝えしてある。

次回の会合は世銀年次総会の前、9 月末～10 月初頭あたりに設定したい。G7 サミットが終わった 7 月に人事異動があるので、大体夏休みが終わったころと考えていただきたい。

2) ADB 福岡総会に関して

大蔵省：ちゃんと関心があり、活動している団体についてはかなり幅広く、特例として 2 人に通行章を発行したい。しかしキャパシティの問題もあり、また全体の意見調整もあるので…。参加希望者はすでに 50 名近い。今週頭によくすべての団体の資料が出揃い、現在整理を続けている。オリエンテーションもセミナーも予定しているのでぜひ参加して欲しい。

NGO：

“オリエンテーション”ではなく意見交換の場と考えて欲しい。

大蔵省：

1時間のスケジュールのうち最初の25分を説明、その後意見交換としたい。

NGO：

今回も何人かの代表理事、ADBスタッフ、大蔵省代表団と会合する予定でいる。今回は日本のNGOと大蔵省との会合、海外NGOとの会合と、二回設定していただきたい。

大蔵省：

検討させて欲しい。日本NGOについてはオリエンテーションでと考えていた。海外NGOについては時間を見つけることが出来ると思う。何しろ大蔵省は今回、全体の運営の責任者であり、スケジュールはかなりタイトだが…出来る限り時間を見つけない。

NGO：

日本政府代表に、5分でも10分でもスピーチしてもらいたい。

大蔵省：

あくまで国際機関の総会であり、日本のみが突出することは出来ないが…出たいと考えている。

NGO：

毎年総会にはNGOルームが設置される。昨年はコンピューター2台、電話2本、コピー機、コーヒーとクッキーのサービスがあった。今年もそれらの設備およびFaxを用意していただきたい。

大蔵省：

財政改革で予算を削られているのだが…確認したい。

ADB総会については盛り上げていただいてありがたいと思っている。何しろADBは知られていないので、親近感を持ってもらえるのが一番いい。

文責：《地球の友》 斎藤あや